



市長コラム「道しるべ」

文化財とは

私は人々の暮らし全般を統括する言葉として「文化」を用いたいと考えています。日々を通し暮つりの中で生まれる智恵や工夫が更に磨かれた結晶として残っているものを「文化財」と呼びたい。ただ時間のみが経過した古いものが文化財であるなら道端に転がる小石も川原の石も文化財と呼ぶなくてはならないから。人間がなにかしう関つてきた軌跡の中に残り続け後世に伝えなければならぬ稀少価値が存在する人間の生命の証だと思っています。

調査の現在と今後



ヘリコプターを使って上空から測量したデータをもとに、地形の凹凸を確認できる赤色立体地図の作成を進めています。この地図により、細かな地形を確認することができ、防御設備をどこに築いたのかなど、当時の城域全体の構造の解明に役立てることが出来ます。こうした最新の技術を活用しながら、今後さらなる調査を進め、調査成果をとりまとめた後、指定に向けた手続きを行います。

また、調査の成果について説明する現地説明会の開催を計画中です。

松倉城跡では、遺跡の保護のため、通行を規制している箇所があります。見学に際しては、ご不便をおかけしますが、規制箇所には立ち入らないようにご協力をよろしくお願いいたします。

高山市内の
県指定史跡の山城

松倉城跡以外にも市内には、史跡に指定された山城跡が5つあります。広瀬城跡は、今後、松倉城跡と同様に国指定に向けた調査を実施する予定です。当時の様子に思いを馳せながら、市内の史跡巡りをしてみてはいかがでしょうか。



鍋山城跡(漆垣内町)



三仏寺城跡(三福寺町)



高山城跡(城山ほか)



広瀬城跡(国府町名張)



高堂城跡(国府町瓜集)

